

各位

2023年8月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和5年6月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比61.3%、学生団体は同86.8%、団体旅行合計では同77.3%となった。企画旅行については2018年度比85.0%となった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、2018年度比77.8%と2018年度を下回った。

海外旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比28.9%、学生団体は同80.3%、団体旅行合計では同33.2%となった。企画旅行については2018年度比23.9%となった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、2018年度比29.4%と2018年度を下回った。

訪日旅行は、2018年度比99.0%と2018年度並となった。

以上の結果、ホールディングス主要会社の6月の総取扱額は、前年比134.1%と前年を上回る結果となったものの、2018年度比65.5%と2018年度を下回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、社内表彰式といった企業系コンベンションの取扱額は上昇傾向にあるものの、職場旅行や視察・研修の取扱額が減少し、2018年度比61.3%となった。学生団体は、修学旅行では、取扱額が2018年度の数値に近づいたものの、2018年度比90.1%になった。

修学旅行以外の学生団体においては、遠足や宿泊研修・林間学校の取扱いの減少により、2018年度比72.5%となった。この結果、国内団体旅行合計では2018年度比77.3%となった。

国内企画旅行については、2018年度比85.0%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、前月に続いて全国旅行支援の効果により販売を押し上げたが、2018年度比51.1%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、ひとり旅やテーマ型旅行の販売が伸びた。また、名古屋・関西方面から稚内のチャーター機を利用した利尻礼文ツアーを実施した。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、2018年度比77.8%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、外資系企業の大規模自社イベントへの渡航の取扱いなどにより、平均単価が上昇したことで業務渡航の取扱額が2018年度を超えたが、企業報奨旅行や公益法人・企業が主催する視察案件は2018年度までの回復には至らず、結果、2018年度比28.9%となった。学生団体は修学旅行の取扱額が増加したが、海外研修等の取扱額が減少したため、2018年度比80.3%となった。この結果、海外団体旅行合計では2018年度比33.2%となった。

海外企画旅行については、2018年度比23.9%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、香港は堅調に推移し、クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、ヨーロッパ方面やビジネスクラスを利用したツアーの利用が増加したものの、2018年度には及ばない結果となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、2018年度比29.4%となった。

3. 訪日旅行

訪日旅行については、スポーツイベントや企業ミーティングといった大型案件が貢献したものの、国際会議や企業系コンベンションの回復は2018年度に至らず、訪日個人旅行者向けオンライン宿泊販売、JAPAN RAIL PASS はいずれも引き続き顕著な回復基調となった。

以上の結果、訪日旅行の総取扱額としては、2018年度比99.0%となった。

以 上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから2018年度との比較にて表記。